

『紫式部日記』を楽しく読む

— 『源氏物語』執筆の背景 —

講座内容

千年前、源氏物語の作者・紫式部は、自ら日記文学を書き残しています。『紫式部日記』です。日記に登場する人物は、紫式部、藤原道長、彰子、倫子、一条天皇、清少納言など、王朝時代の立役者がそろっています。しかも創作された物語ではなく、平安時代の現実の生活が描かれていて、大変に興味深いのです。皆さまと一緒に『紫式部日記』(現代語訳付き)を楽しく読み進んでいきましょう。

期 間	6月2日～7月14日	受講料	7,500円
曜 日	火曜日	定 員	40名 ※最少催行人数9名
時 間	13:15～14:45	会 場	関内アカデミック・リサーチセンター
回 数	全3回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が配布資料を用意します。		
備 考	●この講座は5月25日(月)までに中止の連絡が無ければ開催となります。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	6月 2日 (火)	彰子の出産 - ⑤ 彰子の安産で男子を出産しました。
2	6月23日 (火)	彰子の出産 - ⑥ 宮中から勅使が、守刀を持って来ます。
3	7月14日 (火)	彰子の出産 - ⑦ 同日、御湯殿の儀が行われます。

講師紹介



宇留田 初実(うるた はつみ)

聖徳大学兼任講師

青山学院大学大学院日本語・日本文学専攻、博士課程単位取得満期退学。専門分野は日本文学(平安時代)、幼児言語学、国語教育。詩人(2003年コスモス文学新人賞受賞)。著書に「情報と表現 一日本語の表現と技法」(共著 双文社出版)2016年。